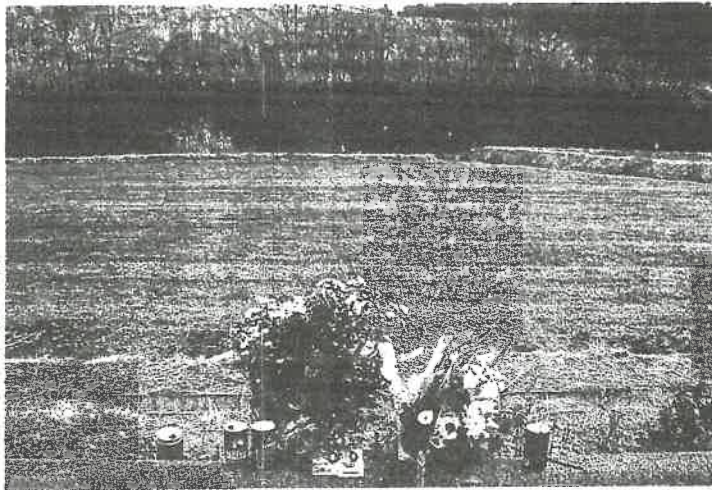


立ち話の男 行方追う

長設施養特
週間1殺刺

不携帯電話 発見恐れ持ち去る?

山県郡大朝町の特別養護老人ホーム「やすらぎ」の施設長郷田和昭さん(66)が同日宮迫町で刺殺された事件は、十五日で発生から一週間がたった。郷田さんの持ち物は、携帯電話以外なくなっている物は見当たらず、県警の捜査本部は恨みによる犯行との見方を強めている。郷田さんは、殺害される前に中年男性と立ち話をしているのを目撃されており、捜査本部は連日七十人体制で、男性の割り出しや郷田さんの交友関係などの聞き込みを続けている。



刺殺された郷田さんの遺体の発見現場。花束や缶コーヒーが供えられている

郷田さんは八日午後五時半ごろにホームを出た後、近くの町道で四十歳代とみられる男性と立ち話をしているのを、ホームの職員や住民に目撃されている。死亡推定時刻は、郷田さんの壊れた腕時計が指していた午後五時五十七分ごろとみられ、男性と会った直後に刺殺された可能性が高い。

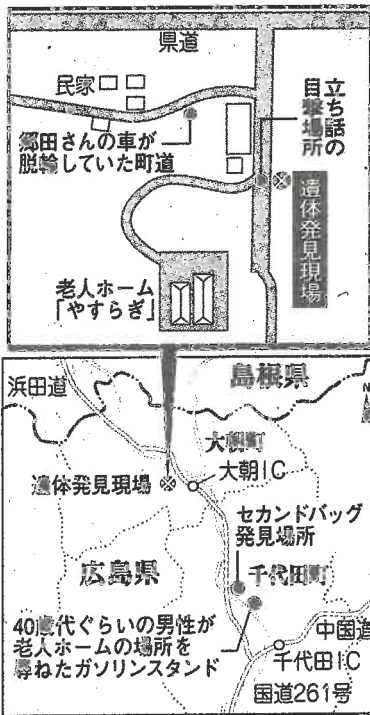
死亡推定時刻の約二時間前には、隣町の同郡千代田町の国道201号沿いのガソリンスタンドで、車で乗り付けた四十歳くらいの男性が「やすらぎはどこだ」と尋ねた後、走り去っている。立ち話の男性と年齢がほぼ一致することから、捜査本部は似顔絵を作るなどして行方を追っている。

遺体発見現場から約百メートル離れた町道では、郷田さんのワゴン型乗用車が脱輪したままで放置されていた。車内と遺体発見現場に血痕が残っており、車内で刺された後、遺体発見現場まで運ばれ、さらに刺されたとの見方も出ている。

携帯電話について、捜査本部は、着信履歴が発覚するのを恐れ、容疑者が持ち去った可能性があるともみられる。財布は取られておらず、なくなっていたセカンドバッグも、千代田町の国道201号沿いで中身がある状態で見つかった。捜査本部は、ホーム職員や出入り業者らへの聞き込みを続けている。

郷田さんは、一九七一年に地元の新庄農協(現在は広島千代田農協に合併)に入り、購買課長や新庄支所長などを歴任。関係者は「金融畑が長く、仕事ぶりは堅実で、融資先とのトラブルもなかった」という。

九六年に引き抜かれる形で、ホームの施設長に就任。今年四月の介護保険導入以降、短期入所サービス(定員二十人)の利用基準が厳しくなり、利用者が四、五人に落ち込んだことなどに腐心していたが、竹内昌晴施設長代行は「悩んでいたが、もめ事はなかった。ホーム運営が関係あるとは思えない」と強調する。



には、情報提供を呼び掛けるチラシが張り出されている。遺体発見現場には花束が供えられ、立ち寄る住人が絶えない。幼少時から長ぶりを見てきたという所の高齢の女性は「まじい人柄で、信用があった。早く犯人を捕まえてほしい」と声を詰まらせた。